

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和2年度）2020

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	10	30	金	8:00	11:00	藤金市民の森	10名
活動名称	藤小 野外学習支援					報告者：吉井 優	

1、活動目的

5年前から依頼されて実施している藤小3年野外学習支援を今年も依頼されました。今年にはコロナの影響で、春から夏にかけて実施できませんでしたが、子供たちの要望が強いとのことで、10月実施となりました。小学生が樹林地や河川の里山環境と触れ合うことで、生態系サービスを実感し、未来にむけて鶴ヶ島地域の生態系サービスを増大してくれることを期待します。

2、活動内容ほか

今回は、供給サービスを体験する竹細工と、文化的サービスを体験するハンモックに揺られて雑木林観察を行った。竹細工では、広場にシートをひき、のこぎりと竹置台を並べ、竹林から孟宗竹を運び、お椀・お皿・花瓶・ケンダマなどを作った。ハンモックは、雑木林にハンモックを張り、3人ずつハンモックにはいり、ゆらしたり、空を眺めたり、秋の市民の森を楽しんだ。

3、評価：

いつものことであるが、刃物を使って竹を切る作業は初めての体験する児童が多く、自らの力で竹を加工し、いろいろなものを作れることで夢中で取り組んでいた。数人は、指にかすり傷をつける児童もいたが、先生は、想定内のことで、素早く消毒・絆創膏処理をしていた。ハンモックでは、本来の寝具としてのハンモックの在り様を教えたが、イベントでは揺らして遊んでもよいと説明した。ハンモックのなかで寝そべて、森を観察することで、森の匂いや、木洩れ日、通り抜ける風を体感し、より市民の森に親しみを感じることができたと思う

4、課題

当日は、運送担当の吉井が、ハンモックとハーネスを間違え、急いで倉庫に取りに行くハプニングが発生した。そのため、準備があわただしく児童が森にきてから、しばらくして準備完了となった。役割分担もあいまいなままスタートし、竹が足りなくなると、追加で切り出しを行った。次回から、余裕をもって、責任分担を徹底し、備えるよう努力する。

<里山参加会員>佐野、吉井、小澤弘、石川、脇谷、杉山、小嶋、小沼、横手、上見

<活動写真>

